

福井ふるさと学びの森 第1回体験イベント 「みんなで竹ドームを作ろう！」

- 1 日時 平成27年5月31日（日）10:00～15:00
- 2 場所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子等14名
- 4 内容

(1) 竹についてのお話

体験の前に、スタッフの萩原さんから竹の特性や人の暮らしとの関わりについての説明がありました。ひとくちに竹と言っても、世界にはいろんな種類の竹があることや、人が里山で竹を増やし利用してきたこと、放置竹林が増え竹害が問題になってきていることなど、紙芝居も使いながらわかり易い言葉で説明です。

続いて、今回のタイトルにもなっている竹ドームづくりの説明です。萩原さんが代表を務める団体「NPO 法人森んこ」では、これまでに竹ドームを作ったことがあり、今回、「森んこ」のみなさんがお手伝いに来てくださいました。



説明をする萩原さん



萩原さんと「森んこ」のみなさん

(2) 竹ドーム作り

スタッフに連れられ、参加者は竹林の中へ。竹林から広場まで、竹ドームの材料をみんなで運び、ロープを使って竹を組み合わせていきます。

星形に組んだ竹をみんなで持ち上げると、ぺたんこだった竹がみるみるドームの形に。ここは今回一番の見せ場、参加者から「魔法みたい」との声が上がりました。



竹林にぶつからないよう長い竹を運ぶのは少し大変



結び方を教えてもらいます



みるみるドーム状になっていきます

(3) 竹のはんごうでご飯炊き

この日の楽しみの一つ、竹のはんごうを使ってのご飯炊き。竹の節の中にご飯と水を入れて、薪で火を焚きご飯を作ります。

火がパチパチと燃え、火吹き竹を吹くと、「ゴォォ」と火の勢いが強くなります。風下にいると煙で目が痛くなることを知った参加者は、風上から火の番をします。

竹のはんごうで炊いたのは、白米のごはんと筍入り炊き込みご飯の2種類。しっかり竹の風味がする白米を食べた後は、炊き込みごはんをおかわり、材料は多めにあったはずなのに、全部食べ切りました。



みんな順番で火吹き竹を吹いていきます



炊きあがりまで見守っています

(4) 体験イベントを振り返って

ご飯を食べてしばらく森の中で休憩した後、みんなで竹ドームを運びます。竹ドームの運び先は、みんなでご飯を炊いた「暮らしの広場」。このドームは、これからのイベント等でテント代わりに活用する予定です。

参加者からは、「竹についていままで知らなかった事を知ることが出来て良かった。」、「みんなで竹ドームを作ったのが感動的。」、「いつも食べているご飯なのに美味しかった。」という感想をいただきました。



竹ドームを持って坂道を運びます



ここに竹ドームを設置しました